

全国学生調査(文部科学省)で高評価

学生が実感する、 名市大理学部の学び。



完成イメージ 2027年4月供用予定

入学定員 受入体制を拡充

学生定員を1学年43名から90名へ拡充し、これまで評価されてきた学びの環境や教育体制を維持しながら、より多くの意欲ある学生を受け入れる体制を整え、学びの機会を社会に広げていきます。将来を見据えた教育環境の充実を進めます。



一般選抜 前期日程を新設

令和9年度入試より、一般選抜に前期日程40名を新設します。後期日程40名とあわせ、受験生の学習状況や志望に応じた選択が可能となり、多様な背景を持つ学生を受け入れる入試制度へと変更されます。受験生一人ひとりのニーズに対応した選抜を行います。



全国学生調査で 好結果を獲得

文部科学省実施の全国学生調査ポジティブリストにおいて、理学・工学・農学分野で13項目にランクインしました(下表)。13項目以上は全国152学部で7学部のみでした。



1位	Q16: 論理的に文章を書く力
3位	Q8: 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
4位	Q19: 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能 Q26: 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。
5位	Q22: 幅広い知識、ものの見方
6位	Q6: 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される Q27: 大学の学びによって成長を実感している。



学びが、つながる。だから、深まる。

安心と具体性が見える、名市大 理学部の学び。

教職課程の認定 中学校理科の免許取得が可能に

2018年の学部設置以降、理学部では高等学校理科の教職課程を設置してきましたが、2026年度入学者より「中学校教諭一種免許状(理科)」の取得が可能となりました。これにより、中学校・高等学校の両方の免許を取得でき、理科教員として指導できる校種の幅が広がります。分野横断的な学びを生かし、教育現場で活躍する進路も選択できます。



学部動画を公開 学びの雰囲気を動画で紹介

学部長のインタビュー動画「名古屋市立大学 2027年春理学部は新ステージへ」を公開しています。学部の現在と今後の展望について、学部長が直接語っています。また、オープンキャンパスの様子の動画も公開。学部概要、入学試験、模擬授業、学生トークライブで、学びの内容や雰囲気を知ることができます。



200万都市のまん中 新築校舎は文京地区

2027年春に「総合生命理学部」は「理学部」へと変わり、田辺通キャンパスの新校舎に移転します。移転先にはすでに薬学部があり、研究機器の共同利用、活発な共同研究が期待できます。近くにはパロマ瑞穂運動競技場があり、市内有数の文京地区となっています。

キャンパス再編整備プロジェクト
Webサイト▶



教員あたりの学生数が少ない 充実した指導が実現

現在、教員数24名に対して学生数は1学年43名で、研究室への配属数は平均1.8名です。2027年度より学生数が90名に増えますが、教員も増員される計画で、少人数教育は維持されます。



2027年学部入試情報

前期日程: 40名
後期日程: 40名
推薦入試: 10名



【滝子(山の畑)キャンパス】

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
地下鉄桜通線「桜山」駅 徒歩12分



※最新情報は大学サイトでご確認ください。